

研究タイトル:

イギリスの移民政策に関する研究



氏名:	原田 桃子 / HARADA Momoko	E-mail:	m-harada@yonago-k.ac.jp
職名:	准教授	学位:	博士(文学)
所属学会・協会:	日本西洋史学会、西洋史研究会、社会経済史学会、全国社会科教育学会		
キーワード:	歴史学、近現代イギリス史、移民政策		
技術相談 提供可能技術:	・世界史全般の基礎知識、学習法 ・イギリスの移民政策、人種関係政策に関すること		

研究内容: 第二次世界大戦後におけるイギリスの移民政策の展開

現在、イギリスは多民族化・多文化化が進み、多くのエスニック・グループが混在しています。そのなかには、旧植民地からの移民をルーツとするグループもあり、生活習慣、宗教、そして肌の色の違いから、イギリス社会で数々の差別を受けてきました。第二次世界大戦以降、歴代のイギリス政府は、こうした差別の是正に向けた政策を行う一方で、旧植民地からの移民の流入を規制する政策も実施してきました。

これまでの研究では、移民流入規制政策がなぜ行われてきたのかを、

- ① 脱植民地化にともなう外交政策の変化
- ② 国際的な反人種差別的風潮への対応

の二点を軸に検討してきました。現在は、送出国である旧植民地の状況と受入国であるイギリスの状況との関係を焦点に流入規制政策の展開を検討しています。

担当科目	歴史Ⅰ、国際社会論Ⅰ・Ⅱ、人文社会特論
過去の実績	・原田桃子「高専における技術者育成と歴史教育」『東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所「大学における歴史教育と高等学校必修「歴史総合」」(東北学院大学)2021年12月 ・原田桃子「イギリスの入国管理政策の展開と移民送出国」東北学院大学研究ブランディング事業公開講演会「第二次世界大戦後のコモンウェルス再編と変容」(東北学院大学)、2020年1月 ・原田桃子「“移民問題”を考える～イギリスの移民政策を例にして～」平成30年度米子高専文化セミナー(米子市福祉保健総合センター ふれあいの里)、2018年11月 ・原田桃子「1970年代前半におけるイギリスの移民政策と「帝国の残滓」」社会経済史学会中国四国大会・ラウンドテーブル(香川大学)、2015年11月 ・原田桃子「1970年代前半におけるイギリスの移民問題」東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会「20世紀イギリス・アメリカにおける人の移動」(東北学院大学)、2015年6月
近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	・原田桃子「1950年代イギリスの移民政策における新コモンウェルス諸国との協力関係」『東北学院大学論集 歴史と文化』第67号、51-62頁、2023年2月 ・原田桃子「高専における技術者養成と歴史教育」『ヨーロッパ文化史研究』第23号、55-68頁、2022年3月 ・原田桃子「第二次世界大戦後におけるイギリスの移民政策の変化と新コモンウェルス諸国」『米子工業高等専門学校研究報告』第55号、32-28頁、2020年3月 ・原田桃子、酒井康宏「高専における非専門科目横断講義による学習意欲への影響—米子高専における歴史・英語総合合同授業の実践から—」『全国社会科教育学会 第68回全国研究発表大会 発表要旨集録』134頁、2019年11月 ・原田桃子「英語総合Ⅰ・歴史Ⅰ 合同授業実践報告—英文学作品を用いた資料読解のもたらす効果について—」『米子工業高等専門学校研究報告』第54号、32-39頁、2019年3月 ・原田桃子「1970年代後半におけるイギリスの移民政策と『移民問題』」『西洋近現代史研究会会報』第31号、10-12頁、2017年7月 ・原田桃子「ヒース保守党内閣における移民問題—1971年移民法の成立をめぐる—」『ヨーロッパ文化史研究』第16号、27-56頁、2015年3月 ・原田桃子「イギリスにおける移民問題の変容—1950年代から1960年代初頭を中心に—」『西洋史研究』新輯第42号、130-156頁、2013年11月